

NIAD-UE

機構ニュース

Vol.140

2015 January

記事

Top News

○年頭の御挨拶1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○平成26年度10月期申請に係る「大学評価・学位授与機構試験」を実施2

機構認定の教育施設(各省庁大学校)の課程修了者への学位授与関係

○35人から修士の学位授与の申請－大学院修士課程相当の課程修了見込者－3

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○中国・教育部留学生事業訪日団が来訪4

○新規刊行物のご案内－「インフォメーション・パッケージ」関連資料4

主要行事日程

○Schedule(1月～3月)5

TOP NEWS

〇年頭の御挨拶

新年明けましておめでとうございます。

2015 年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

機構は昨年4月から、第3期中期目標期間を迎えました。新たな中期目標・中期計画では、これまでの「評価」、「学位授与」、これらに関する「調査研究」に加えて、「質保証連携」が新たな柱として示され、評価において先導的役割を果たすこと、学位授与を通じて我が国の教育システムの生涯学習体系への移行及び高等教育機関の多様な発展に寄与していくこと、さらには、大学等や国内外の質保証機関と連携した活動並びにこれらに関する調査研究を通じて大学等の質保証の支援及び我が国の高等教育の国際通用性の向上に資することなどが要請されております。

目下、この中期目標・中期計画を達成すべく、機構構成員が一丸となって全力で取り組んでいるところであり、これまで行ってきた各種の取組をさらに発展・充実させるとともに、「機構憲章」の制定、学位授与における新たな審査方式の導入、大学ポートレートの運用に向けた準備など、新たな取組も開始したところです。

さて、一昨年の12月に、機構と独立行政法人国立大学財務・経営センターとの統合が閣議決定され、昨年8月には、行政改革推進本部において、統合の実施時期が平成28年4月と決定され、現在、両法人間で統合に向けた諸準備を進めております。

機構は、平成3年7月に学位授与機構として設置されて以来、平成12年4月の大学評価・学位授与機構への改組、平成16年4月の独立行政法人化を経て現在に至っておりますが、今回の法人統合は、それらと並ぶ大きな変化となります。この間、グローバル化の進展や大学の多様化など我が国の高等教育を取り巻く環境は急激に変化しましたが、機構や国立大学財務・経営センターのような大学支援組織に対する期待、果たすべき役割は、衰えるどころか、より一層大きなものとなっていると感じております。

こうした点も踏まえ、機構は、今後とも、大学支援機能の強化と大学の教育研究の質や国際通用性の向上に努め、我が国の高等教育のさらなる発展に寄与してまいります。

引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年1月

独立行政法人大学評価・学位授与機構

機構長 野上智行

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○平成26年度10月期申請に係る「大学評価・学位授与機構試験」を実施

平成26年12月7日（日）及び14日（日）に、平成26年度10月期申請に係る「大学評価・学位授与機構試験」を実施しました。

面接試験は東京で、小論文試験は全国5か所（札幌・東京・大阪・岡山・福岡）で実施しました。試験の実施状況は次のとおりです。

1 面接試験

(1) 日 時 平成26年12月7日（日） 10時00分～13時30分
(1人当たり15分程度)

(2) 受験状況

受験予定者数	71人	(昨年度10月期	86人)
受験者数	71人	(昨年度10月期	85人)
欠席者数	0人	(昨年度10月期	1人)
受験率	100%	(昨年度10月期	98.8%)

2 小論文試験

(1) 日 時 平成26年12月14日（日） 午前の部 11時00分～12時30分
午後の部 14時30分～16時00分

(2) 受験状況

受験予定者数	2,262人	(昨年度10月期	2,217人)
受験者数	2,256人	(昨年度10月期	2,212人)
欠席者数	6人	(昨年度10月期	5人)
受験率	99.7%	(昨年度10月期	99.8%)

今後、各専門委員会・部会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成27年2月13日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には学士の学位を授与する予定です。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

■ 機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

○35人から修士の学位授与の申請－大学院修士課程相当の課程修了見込者－

大学院の修士課程に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の平成27年3月修了見込者35人から、修士の学位授与の申請がありました。

今後、各専門委員会・部会における論文の審査及び口頭試問を経て、平成27年3月13日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には修士の学位を授与する予定です。

<修士の学位授与申請者数>

認定課程名	専攻分野	申請者数 (人)
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	理 学	3
	工 学	9
防衛大学校 総合安全保障研究科（前期課程）	安全保障学	15
独立行政法人水産大学校 水産学研究科	水 産 学	1
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科	看 護 学	7
合 計		35

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○中国・教育部留学生事業訪日団が来訪

2014年12月18日（木）に中国より教育部国際合作・交流司の方軍副巡視員（Deputy Director General）をはじめとする留学生事業関係者7名が当機構を訪問しました。

当日は、当機構国際課の秦課長より日本の高等教育の概要および当機構の認証評価について、また、研究開発部の鈴木教授より選択評価C（国際化評価）についてそれぞれ説明を行いました。

機構からの説明の後、留学生教育の質に関する評価の方法等や留学生の受入状況等について、熱心な質疑応答がありました。



参加者による集合写真

○新規刊行物のご案内 — 「インフォメーション・パッケージ」関連資料

当機構では、国内外の高等教育質保証の基礎情報や動向をはじめ、国際的な共同教育プログラムの質保証を図るうえで有益な海外の情報や事例を収集し、刊行物や概要資料にまとめて関係者に広く発信しています。

今回は、昨年12月に刊行した諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要「ドイツ」をご案内します。

諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要「ドイツ」



ドイツの高等教育制度、質保証制度（高等教育質保証制度の概要・発展・種類、内部質保証、外部質保証、国際化と質保証等）、質保証機関（アクレディテーション協議会）の概要をまとめた。ドイツ大学学長会議（HRK）や中央評価・アクレディテーション機構（ZEvA）の協力・助言を得つつ、最近のデータや動向を踏まえて、当機構の評価事業部国際課が作成。（平成26年12月作成／日本語版49ページ、英語版54ページ）

本概要の電子版の掲載先（国際連携ウェブサイト）

http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/

主要行事日程

○ Schedule

1月

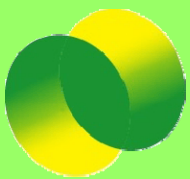
日	行事名	担当課	関連ページ
19日	大学機関別認証評価委員会（第2回）	評価支援課	関連ページ
20日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第2回）	評価支援課	関連ページ
28日	法科大学院認証評価委員会（第3回）	評価支援課	関連ページ

2月

日	行事名	担当課	関連ページ
13日	学位審査会（平成26年度第4回）	学位審査課	関連ページ
25日	学位記伝達式・講評	学位審査課	

3月

日	行事名	担当課	関連ページ
9日	大学機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課	関連ページ
10日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課	関連ページ
13日	学位審査会（平成26年度第5回）	学位審査課	関連ページ
18日	法科大学院認証評価委員会（第4回）	評価支援課	関連ページ



NIAD-UE

独立行政法人大学評価・学位授与機構